

ほ っ か い ど う



～こんぶを楽しむ1日～

北海道こんぶDay

～こんぶを楽しむ1日～

実施報告書



「ほっかいどうこんぶDay～こんぶを楽しむ1日～」イベントは2016年11月6日に、11月の札幌としては記録的な豪雪のなか、関係者各位のご協力のもと多くのお客様にいらしていただき無事開催することができました。ご支援、ご協力いただきました皆様にあらためて厚く御礼申し上げます。

私たちの研究会では、こんぶに対して深い愛情や関心を持たれている方たちばかりではなく、こんぶに対して関心の薄い方たちにもこんぶへの興味を持っていただきたいと考えております。そのようななかで、今回はAIR-G'エフエム北海道様との共同主催というかたちで、これまでのこんぶフォーラムとは趣の異なる啓蒙イベントを開催させていただくことができました。

準備段階から関わっていただいたスタッフのなかには「この1週間で使った“こんぶ”という言葉の回数が、これまでの人生の中で使ってきた回数を超えたと思う」という表現で、こんぶへの親近感が強まったことを伝えてくれる方もいらっしゃいました。当日お越しのお客様も、またボランティアとして参加の皆さんも、今回のイベントをきっかけとしてこれまで以上にこんぶに興味をもっていたけるものと思います。

当日の様子を簡単ではありますが本書にてご報告させていただきます。こうした取り組みにご関心を持っていただいている各位に広くご周知賜れば幸いです。

北海道こんぶDay

主催者代表 北海道こんぶ研究会 理事長 四ツ倉 典滋

目次

イベント概要	P 2
--------	-----

ステージイベント

きき出汁コンテスト	P 4
-----------	-----

こんぶダンスミュージックDVD上映	P 5
-------------------	-----

こんぶすくいコンテスト	P 6
-------------	-----

こんぶ人リレーインタビュー	P 7
---------------	-----

こんぶ物コーナー

こんぶ関連製品の販売	P 8
------------	-----

こんぶ関連展示・体験	P 9
------------	-----

協賛各社	P 10
------	------

決算書	P 11
-----	------

資料編

ボランティアアンケート	P 12
-------------	------

イベントフライヤー	P 13
-----------	------

メディア掲載	P 14
--------	------



北海道こんぶDay ～こんぶを楽しむ1日～

日時 2016年11月6日11:00～16:30

場所 道新プラザDO-BOX（北海道札幌市大通西3丁目北海道新聞社本社1F）

参加費 無料

主催 特定非営利活動法人北海道こんぶ研究会、AIR-G'エフエム北海道

協力 北海道新聞社

後援 北海道、様似町、北海道ぎょれん

協賛

有限会社永見、LINE株式会社、株式会社アイリンク、株式会社チロロネット、
さっぽろコミュニケーションマガジン poroco、一般社団法人 海っ子の森、
株式会社Dkdo、東香産業株式会社、株式会社北海道新事業創造プラザ、室蘭幼稚園、
アトリエHaremi、cantine SEL(カンティーンセル)、野菜ソムリエの店Cafe'加賀里、
磯田園製茶株式会社、株式会社植松電機、小松研究事務所、夕星文庫、小説家 佐藤青南、
株式会社Savon de Siesta、ブルードッグ・グラフィック、青春☆こんぶ制作委員会、
アミューズメントメイドカフェ&バー ユナマノミニ、田中克幸漁業部、菓子工房モンパリ、
山小 小林食品株式会社、カネシメ高橋水産株式会社、内藤食品工業株式会社、
鉄板焼き じゅって。、キズナト、合同会社のこたべ、株式会社グリュック、
スタジオ RIPIENO(リピエノ)、Office-ITAYA、音楽団体 Northarmony(ノーザーモニー)、
株式会社 札幌在宅リハビリセンター、文芸サークル Onoma(オノマ)、Unique Memory、
室蘭工業大学Studio催事、日本ノマド・エジュケーション協会、株式会社サロベツベニソン、
医療と教育と倫理研究所、株式会社ソーシャルキャピタルインテグレーション



～ こんぶを楽しむ1日～

■ステージイベント

MC 依田英将（よだ・ひでまさ）さん、HTBアナウンサー

○きき出汁コンテスト（11:00～）

○こんぶダンスミュージックV（12:30～、14:00～）

○こんぶすくいコンテスト（13:00～）

○こんぶ人リレーインタビュー（15:00～）

■こんぶ物コーナー

○こんぶ関連製品の販売

○こんぶ関連展示・体験

■実施結果

参加ボランティア総数

45名（10代～70代までまんべんなく参加、市内だけではなく道外からも）

来場者総数

約200名

・イベント別参加者

きき出汁コンテスト 20名（ギャラリー、途中参加者除く）

こんぶすくいコンテスト 25組、30名（親子連れ等。ギャラリー除く）

コンブ人リレーインタビュー 約50名

・物販コーナー来場者

約120名（一般的なイベント客単価からの類推）

・展示体験コーナー来場者

約100名（来場者シール等からの類推）

商品販売額

¥ 75,000-

■ステージイベント

総合司会 依田英将（よだ・ひでまさ）さん、HTBアナウンサー

〇きき出汁コンテスト（11:00～）

食品としての昆布を深く理解してもらいつつ、ゲーム形式で様々な昆布だしを当てていただくイベントを企画しました。ゲームにエントリーされた参加者は20名ではありませんでしたが、それ以外にも関心のある1問だけ参加される方や、途中から挑戦される方などもお見えになり大変盛況でした。

他方で、イベントの進行を協賛として委託させていただいた、有限会社永見の桃井社長の解説が素晴らしく、真昆布、日高昆布、羅臼昆布、利尻昆布の出汁の味の違いが多くの参加者に伝わりました。6問で勝者を決定する予定が、最終的には13問までかかりましたが、非常に有意義なゲームになりました。



■ステージイベント

○こんぶダンスミュージックDVD上映(12:30～、14:00～)

新しい層、特に若い層へのこんぶへのアプローチということで、独立系研究者で市民とのコラボレーションしての研究なども行っている小松研究事務所からの協賛ということで、「こんぶでざばーん」というオリジナル楽曲の制作と東京のメイドカフェ「ユナマノミニ」とのコラボレーションで、その楽曲でのオリジナルのダンスDVDを作成いただきました。

北海道ではなじみのあるボーカロイドでの楽曲でイベント中の会場BGMとして利用させていただいたほか、DVDをステージの合間に流させていただきます。高校生や大学生のボランティアが合わせて踊っていただいたり、イベント中のボランティアと分かるようにダンスをする方が身に着けていた「遊走子カチューシャ」をつけていただきました。

楽曲の内容やふりは、小松研究事務所の監修で藻類やこんぶの専門家が見ても市民への理解を深めるものになっていました。



■ステージイベント

○こんぶすくいコンテスト（13:00～）

生き物としてのこんぶとの触れ合いを楽しんでいただく目的で、金魚すくいの変形で小さく人工的に育てたこんぶを金魚すくいのポイですくった数を競うゲームを開催しました。水槽をセットアップした時点で、多くの子供たちが寄ってきて、こんぶへの関心を持っていただけたのではないかと思います。

予選が5回、決勝戦1回で実施。合計25組ほど参加いただきました。親子連れだけではなく、老若男女問わず参加いただき、また、北海道在住の昆布大使、金子由美さんも仮装して参加と優勝者へのオリジナル昆布ティアラ贈呈をしていただくなど、イベント全体を盛り上げていただきました。



■ステージイベント

○こんぶ人リレーインタビュー（15:00～）

依田アナウンサーの進行で、こんぶに深い関心や理解、愛情を持たれている方を「こんぶ人（びと）」として、インタビュー形式で紹介していくコーナーを実施しました。話をナビゲートするということで、こんぶ人ナビゲーターに北海道こんぶ研究会の四ツ倉理事長が加わり、3人のインタビューが行われました。



依田アナウンサーによる漁港取材の経験にもとづく司会進行が素晴らしく、ゲスト出演者の皆さんもそれぞれの角度・視点から示唆に富むお話を引き出していただき、全体的に中身の濃い、充実したトークになりました。

1) 角田博義（すみた・ひろよし）

北海道こんぶ研究会理事

株式会社海洋探査社長。手軽なコンブ増殖が可能な「石詰礁（特許取得）」を開発。環境の視点からこんぶのお話をしていただきました。



2) 対木真理（ついき・まり）さん、 フードディレクター

野菜ソムリエ・フードディレクター。生産者と企業を結びメディアでも活躍している。食品としての視点からこんぶのお話をしていただきました。

3) 岡部司志（おかべ・かずゆき）さん、 コンブ漁師

様似町でコンブ漁に携わること30年。現在えりも漁協冬島ウニ部会会長も務める。コンブ漁というものがどういうことかという視点を中心にお話しいただきました。

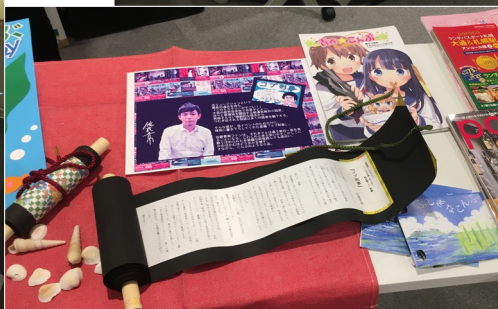


■こんぶ物コーナー

○こんぶ関連展示・体験

学術的なパネル展示だけではない、こんぶをテーマにした自由な展示・体験コーナーを目指して、各所にお声がけをしてお用意いただきました。特に、体験用のコンブ干し作業アシストスーツをはじめ、こんぶのデザインをしたペーパークラフトのモデルロケット、ネイルアート、絵画などを展示いたしました。

小さな子供が楽しめるように、ご協賛いただいた室蘭幼稚園の先生と高校生ボランティアの協力で、折り紙コーナーやどこから来たのかを貼る地図ボードなども運営しました。



■ こんぶ物コーナー

○ こんぶ関連製品の販売

いわゆる物産展ではなく、こんぶをテーマにしたあらゆるものの販売を目指して、各所にお声がけをして、集めたり、新たに作っていただいたものを販売いたしました。協賛各社様からも、こんぶを利用した製品をはじめ、こんぶのグッズもお寄せいただきました。各産地からのこんぶがそろっただけではなく、ドレッシングや塩などの昆布加工品もそろえることができました。

食品コーナーも盛況でしたが、非食品のグッズも充実させるべく、萌えキャラで知らせる「青春☆こんぶ」の各種グッズを出店いただいたほか、バスソルト、郵送できる絵本、巻物状の小説なども、それぞれ本イベントのオリジナルということで準備いただくなど、イベントオリジナルグッズも好評でした。

こうした効果も重なり来場者数が伸びなかったもののある程度の売り上げを出すことができました。ご協賛提供いただいたものに関しては、趣旨にかんがみて販路を持つ会員企業にご協力いただき、そこでの売り上げを今後の活動に活用する予定です。





～ こんぶを楽しむ1日～

ご協賛各社

協賛金協賛

株式会社チロネット、株式会社Savon de Siesta、一般社団法人 海っ子の森、
株式会社Dkdo、東香産業株式会社

物品サービス協賛

広報広告

LINE株式会社、株式会社アイリンク、さっぽろコミュニケーションマガジン poroco

きき出汁コンテスト企画・運営

有限会社永見

ボランティア支援

株式会社北海道新事業創造プラザ、磯田園製茶株式会社、アトリエHaremi、
cantine SEL(カンティーマセル)、一般社団法人 海っ子の森

ディスプレイ協力

室蘭幼稚園、小松研究事務所、アミューズメントメイドカフェ&バー ユナマノミニ、
青春☆こんぶ制作委員会、株式会社植松電機、夕星文庫、小説家 佐藤青南

販売物品提供

ブルードッグ・グラフィック、小松研究事務所、青春☆こんぶ制作委員会、
アミューズメントメイドカフェ&バー ユナマノミニ、小説家 佐藤青南、
田中克幸漁業部、山小 小林食品株式会社、菓子工房モンパリ、
カネシメ高橋水産株式会社、内藤食品工業株式会社

当日運営協力

株式会社アイリンク、有限会社永見、株式会社植松電機、小松研究事務所、キズナト、
合同会社のこたべ、株式会社グリュック、スタジオ RIPIENO(リピエノ)、
Office-ITAYA、音楽団体 Northarmony(ノーザーモニー)、Unique Memory、
株式会社 札幌在宅リハビリセンター、文芸サークル Onoma(オノマ)、
室蘭工業大学Studio催事、日本ノマド・エジュケーション協会、
株式会社サロベツベニソン、野菜ソムリエの店Cafe'加賀里、鉄板焼き じゅって。

事務局支援

株式会社北海道新事業創造プラザ、医療と教育と倫理研究所、
株式会社ソーシャルキャピタルインテグレーション



～ こんぶを楽しむ1日～

北海道こんぶDay決算書

収入の部	予算	決算	備考
自己資金	100000	38023	
協賛金	100000	110000	
物販協賛金	20000	42760	販売の全額もしくは一部協賛
合計	220000	190783	

支出の部		予算	決算	備考
広報宣伝	チラシデザイン	50000	0	物品協賛
	チラシ印刷	10000	0	物品協賛
	Web	0	49000	サーバー代
ステージ	ステージ設営演	100000	100000	
	出汁コンテスト	20000	0	物品協賛
	こんぶすくい物	5000	3840	
	出演者謝金	5000	0	協賛
ブース	会場設営	10000	0	協賛+ボランティア
	消耗品	2000	0	協賛
	会場費	15000	0	協賛
	そのほか事務	3000	2943	
保険		0	10000	
ボラ補助	お弁当等	0	25000	
合計		220000	190783	

参加ボランティアアンケート

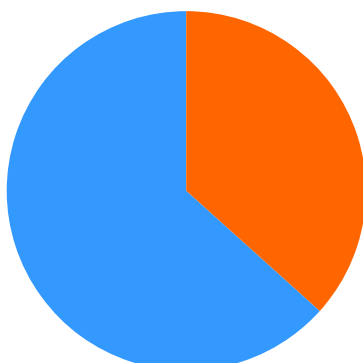
(参加45人、回答数30人)

参加者年代



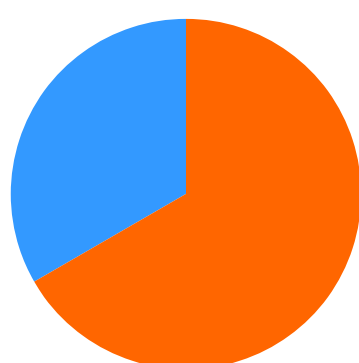
10代6人、20代4人、
30代5人、40代12人、
50代3人

ボランティアを楽しめたか？



すごく楽しめた19人、
楽しめた11人、
楽しめなかった0人、
全く楽しめなかった0人

お客様は楽しんでいたか？



すごく楽しんでいた10人、
楽しんでいた20人、
楽しんでいなかった0人、
全く楽しんでなかった0人

- ・すごく楽しかったです。来年もボランティア参加したいと思いました。
- ・子供たちが意外と多く来ていたので、もし次回があれば子供向けのものがもう少しあれば楽しめるのでは？とおもいました。すごく楽しかったです。
- ・こんぶすくい楽しかったです。子供がシャイだったです。こんぶタメになりました。
- ・コンブが身近にあるのにコンブのことを全然わかっていないことが分かりました。
- ・さらに多くの方が来られるようにPRしていくといいと思います。
- ・来場者が入りやすくなる工夫を考えるとよくなると思います。
- ・本日はありがとうございました。本当に楽しかったです。展示物の説明ができるように、それぞれの概要がまとめられていると、よりスムーズにできたかなと思います。
- ・準備と進行は大変だと思いますが、きき出汁コンテストとこんぶすくいコンテストは午前と午後の2部形式にするのが、来場者を増やすうえでよいのではないかと思います。
- ・障害を持つ方がいらっしゃいましたが、あとちょっとの気配りがあるとよいかなあと思いました。楽しかったです。来年もボラします。
- ・ゆるく楽しく参加させていただきました。特にトラブルもなく良かったと思います。新しいつながりもできてよかった。
- ・コンテストがとても楽しかったです。あまり広い会場ではないけど、様々な催し物を実施していてすごいなと思いました。
- ・トークセッションを先にやってくれたらもっと楽しめた。
- ・第2回目楽しみ。お疲れ様でした。

ほ っ か い ど う

こんぶ・Day

～ こんぶを楽しむ1日～

イベントフライヤー

協賛等の増加に合わせて変更しながら、約5,000部ほど配布。

ほ っ か い ど う

2016年
11月6日(SUN)
11:00～16:30

こんぶ・Day

～ こんぶを楽しむ1日～

場 所 道新プラザDO-BOX
北海道札幌市大通西3丁目北海道新聞社本社1F

主 催 特定非営利活動法人北海道こんぶ研究会
AIR-G'エフエム北海道

ス テ ー ジ イ ベ ン ト MC / 依田 英将さん(HTBアナウンサー)

きぎ出汁コンテスト 11:00～

出汁スペシャリストが作った実際の出汁の中から正しいこんぶ出汁をあてられるか。

こんぶすくいコンテスト 13:00～

こんぶをすくう新感覚競技。君はどれだけすくえるかな？

**各コンテスト
事前エントリー希望の方は
ホームページから**

こんぶ人リレーインタビュー 15:00～ こんぶに関する思いを持っている方をリレー形式でMCと対話しながらご紹介していきます。

 北海道こんぶ研究会理事 すみた ひろよし 角田 博義 株式会社海洋探査社長。 手軽なコンブ増殖が可能な「石詰礁(特許取得)」を開発。	 フードディレクター ついき まり 対木 真理 さん 野菜ソムリエ・フードディレクター。 生産者と企業を結びメディアでも活躍している。	 コンブ漁師 おかべ かずゆき 岡部 司志 さん 様似町でコンブ漁に携わること30年。現在えりも漁協冬島ウニ部会会長も務める。
---	---	--

こんぶ物 コーナー こんぶにまつわる色々な「こんぶ物」をご用意。一日こんぶで楽しんでください。

こんぶ物の販売所
北海道各地の昆布や加工品、各種グッズを販売。売り上げの一部を海の森の保全に活用します。

こんぶスーツ着用体験
道総研が開発した、昆布干しの負担を軽減する昆布スーツを試着体験。

こんぶ本立ち読みコーナー
マンガ「青春☆こんぶ」の他、現役作家による書き下ろしの絵本、小説を読み放題。

協 力 / 北海道新聞社 後 援 / 北海道、様似町
協 賛 / 有限会社永見、LINE株式会社、株式会社アイリンク、株式会社チロネット、さっぽろコミュニケーションマガジン poroco、株式会社Dkdo、東香産業株式会社、株式会社北海道新事業創造プラザ、室蘭幼稚園、アトリエHaremi、cantine 5EL、野菜ソムリエの店Cafe'加賀里、磯田園製茶株式会社、小松研究所、夕星文庫、小説家 佐藤青南、株式会社Savon de Siesta、ブルドッグ・グラフィック、アミューズメントメイドカフェ&バー ユナモノミニ、青春☆こんぶ制作委員会、田中克幸漁業部、山小 小林食品株式会社、菓子工房モンパル、カネシメ高橋水産株式会社、内藤食品工業(株)、鉄板焼きじゅって、キズナト、合同会社のこたべ、株式会社グリック、スタジオ RIPIENO、Office-ITAYA、音楽団体 Northarmony、医療と教育と倫理研究所、株式会社ソーシャルキャピタルインテグレーション

<http://www.konbu-day.com/>

ホームページもチェック!



メディア掲載

<AIR-G' エフエム北海道>

2016年10月25日（火）～11月6日（日） 30秒CM 計72回（北海道全域）

<HTB>

2016年10月29日（土）「イチオシ！モーニング」午前7時8分 （全道生放送）

<北海道新聞>

2016年10月31日（月）朝刊「道新ぷらす 11月のDO-BOX」（掲載地域：全道版）

2016年11月04日（金）朝刊別刷り「札幌10区（トーク）」（掲載地域：札幌市内・近郊版）

<Webメディア>

2016年10月15日 さっぽろコミュニケーションマガジン poroco

2016年11月11日（金）依田英将アナウンサーのブログ「ガタゴト日誌」

そのほか協賛各社Webサイト

当日の様子を北海道新聞にお取り上げいただきました。

2016年（平成28年）11月7日（月曜日）
北海道新聞



昆布消費拡大 研究者らPR

道新プラザで催し

昆布の消費拡大を呼び掛けるイベント「こんぶDay」が6日、札幌市中央区の北海道新聞本社1階の道新プラザDO-BOXで開かれた。

研究者や漁師らでつくるNPO法人北海道こんぶ研究会（事務局・札幌）とエフエム北海道が、15日の「昆布の日」を前に初めて開いた。

4種類の昆布のだしを言い当てる「ききだし」コンテストや、道立総合研究機構が開発したコンブ干しの腰への負担を減らす「アシストスーツ」の試着コーナーなどが設けられた。

「こんぶ人リレーインタビュー」では、日高管内様似町のコンブ漁師岡部司志さん（49）らが出演した。岡部さんは1日に最大400キロも取れる漁の様子や、今年は台風で出漁日が限られたことなどを紹介。「江戸時代から昆布の主な消費地は本州。北海道でも、もつと消費が増えるとうれしい」と話した。

（荒谷健一郎）

リレーインタビューでコンブ漁の様子などを紹介する岡部司志さん（左から2人目）

ほ っ か い ど う



～こんぶを楽しむ1日～

北海道こんぶD a y～こんぶを楽しむ1日～ 実施報告書

発行日：2016年11月15日

編集：北海道こんぶD a y 事務局

発行：特定非営利活動法人北海道こんぶ研究会

ほ っ か い ど う

こんぶDay

～こんぶを楽しむ1日～



北海道こんぶDay 実施報告書